

熊本県の歯科保健

～健康長寿の実現に向けて～

熊本県 健康福祉部健康局 健康づくり推進課

参事 井上秀代

第3回は、歯周病予防について紹介させていただきましたが、今回は、歯と口腔の健康が、全身の健康と関係することから、医科・歯科連携で取り組んでいる糖尿病対策について紹介します。

第4回 糖尿病対策における医科・歯科連携について



糖尿病と歯周病の関係について

糖尿病の人は、免疫力が低下するので、歯肉の炎症が起こりやすくなります。そのため、糖尿病が歯周病をもたらし悪化させるといわれています。さらに、歯周病が進行すると、炎症によって出てくる物質TNF- α （炎症性サイトカイン・生理活性物質）がインスリンの血糖値をコントロールする働きを妨げ、糖尿病を悪化させるといわれています。

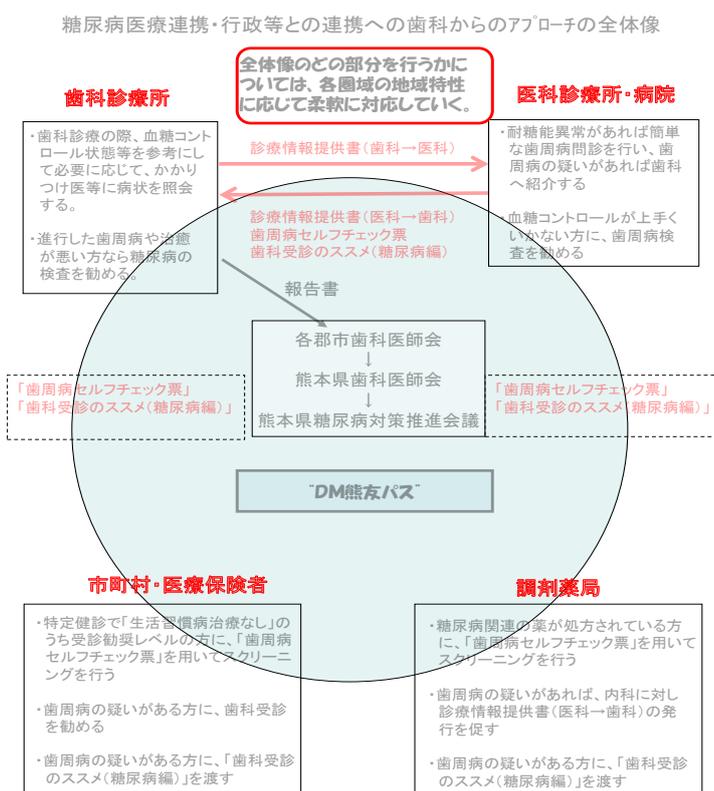
このように、糖尿病と歯周病は密接な相互関係にあります。最近の研究では、糖尿病と歯周病を合併している患者に歯周病の治療をすることによって、歯周病に起因するTNF- α 分泌の低下、インスリン抵抗性の改善が進み、血糖コントロールが良くなったという報告もされています。

糖尿病対策における医科・歯科連携の取り組み

取組モデル例

本県では、「第3次くまもと21ヘルスプラン」、「第3次熊本県歯科保健医療計画」に基づき、切れ目のない保健医療サービスを県民に提供するために、熊本県歯科医師会に協力いただき、関係機関との連携のもと、糖尿病対策の一環として医科・歯科連携を推進しています。

特に、熊本県糖尿病対策推進会議が運用する「熊本県糖尿病地域連携パス（DM熊友パス）」による医科・歯科連携の充実を図るため、連携ツールとして作成した「歯周病セルフチェック票」や「糖尿病診療情報提供書（医科⇄歯科）」の活用を推進するとともに、医療関係者や行政等が話し合う場づくりを進めるなど二次保健医療圏毎のネットワーク体制を構築しています。



🌿 糖尿病対策への歯科からのアプローチ

<目的>

- 1) 糖尿病治療と歯周病治療に相互に介入し、それぞれの治療効果を向上させる。
- 2) 糖尿病治療と歯周病治療の連携により、糖尿病と歯周病双方の患者の治療中断を防止する。

<医科・歯科連携における情報共有の内容>

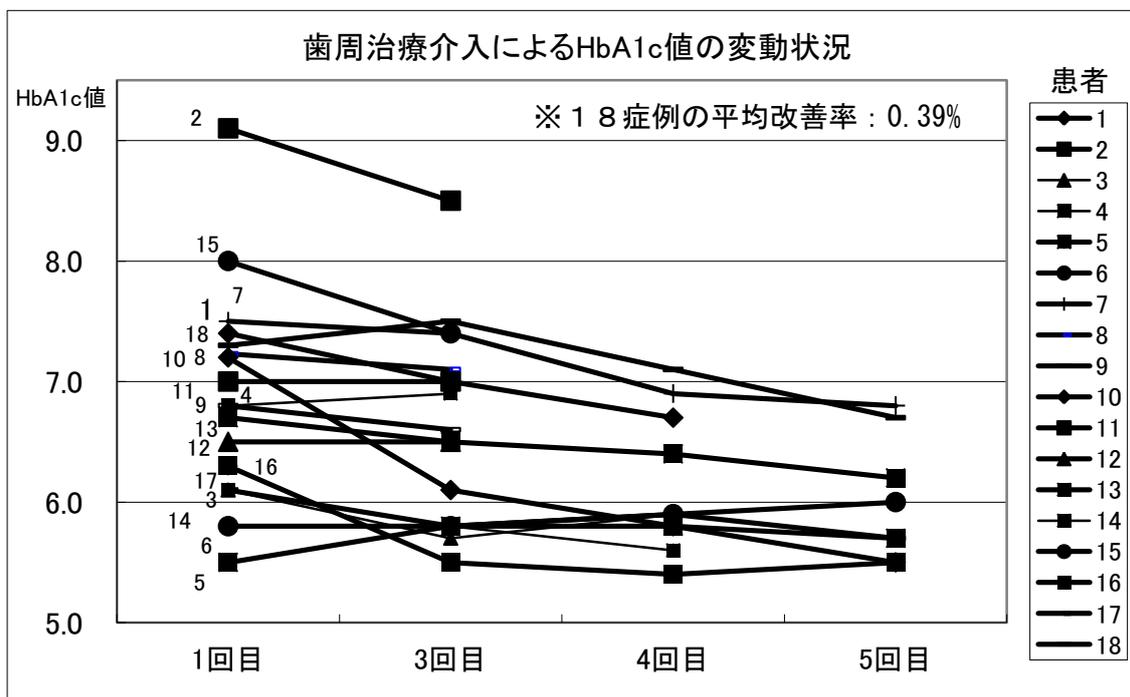
- 1) 糖尿病の状態（血糖値、HbA1c）及び歯周病の状態
- 2) 糖尿病の合併症及び糖尿病治療薬等
- 3) 糖尿病及び歯周病の治療状況

<取り組み内容>

- 1) 各二次保健医療圏において、「歯周病セルフチェック票」及び「糖尿病診療情報提供書（医科⇄歯科）」を活用して、糖尿病患者や歯周病患者を医科及び歯科へ相互に受診勧奨することで糖尿病重症化の予防と歯周病ハイリスク者の支援を行っています。
- 2) 市町村等が実施する特定健康診査で「生活習慣病の治療がない方で糖尿病受診勧奨レベル」の方に、歯周病セルフチェックを行います。その中で歯周病の疑いがある方には、「歯科受診のススメ（糖尿病編）」を渡し、歯科受診を勧めます。歯科治療を通して糖尿病の未受診者及び治療中断者を発見し、医科への受診勧奨を行う取り組みを進めています。
- 3) 調剤薬局において、糖尿病関連の薬が処方されている方に、歯周病セルフチェック票を用いてスクリーニングを行い、歯周病の疑いがあれば、「歯科受診のススメ（糖尿病編）」を渡して歯科診療所への受診勧奨を行っています。

🌿 HbA1cの改善

上記の取り組みにおいて、HbA1c 値を共通指標として、糖尿病患者に歯周病治療を行ったところ、HbA1c 値の改善が認められ、歯周病治療により糖尿病患者の血糖値コントロールが改善される可能性が示唆されました。



(参考)

●連携ツール

熊本県歯科医師会のHPに掲載してあります。

(<http://www.kuma8020.com/>)

- ・[歯周病セルフチェック票]
- ・[歯科受診のススメ (糖尿病編)]
- ・[糖尿病診療情報提供書 (医科から歯科に紹介)]
- ・[糖尿病診療情報提供書 (歯科から医科に紹介)]